

いまだから読みたい



震災・原発・政治・経済

日々、様々なことが起こっています
情報があふれる世の中だからこそ
自分で情報を見極める力が必要です



内 容

ニュースを読む ~~~~~3

「メディア」とは? ~~~~~ 5

「メディアリテラシー」 ~~~~~ 6

手軽に学べる新書 ~~~~~ 7

メディア研究 ~~~~~ 9



ニュースを読む

ニュースへの接し方についての本を集めました。
テレビや新聞は毎日目にするものです。
身近なところから意識してニュースを「読む」力を身につけるのに最適な本です。

“「わからない」ことがわかれば、「わかった」も同然”

『ニュースの読み方使い方』(池上彰、2007)より

タイトル / 著者 (出版年)	配架場所
ニュースの「大争点」:世の中のアレコレ、そうだったのか! / 池上彰 (1996)	【1F 開架】304/548/2
日本の経済ニュースが面白いほどわかる本:「4つの公式」で バッチリ理解できる! / 清水雅博 (2006)	【1F 開架】330.21/558
経済ニュースの読み方 / 小林慶一郎 (2005)	【1F 開架】330.21/531
テレビ報道の正しい見方 / 草野厚 (2000)	【1F 開架】696/196
新聞・テレビの経済ニュースがわかる本:金融 株式 為替 貿易: 経済の読み方解き方が図解でとことんわかる! / 成瀬健生 (2001)	【1F 開架】330.4/127
ココがわかると科学ニュースは面白い / 中野不二男 (2004)	【1F 開架】Shincho/な 24/3
これから3年!「世界はどう変わる?」:アメリカから中国問題 まで最新ニュースを読み解く / 池上彰 (2005)	【1F 開架】316/511
経済の常識が面白いほどわかる本:身近な経済ニュースを理 解するための基本知識33 / 小巻泰之 (2007)	【1F 開架】330.1/814
ニュースの読み方使い方 / 池上彰 (2007)	【1F 開架】Shincho/い 91/1
紛争の世界地図:ニュースの裏がよくわかる:最新版 / 大井 功 (2009)	【1F 開架】319A/03 1F 開架
ネットで人生、変わりましたか? / 岡田有花(2007)	【1F 開架】546/325



“「でも、どれが真実でどれが嘘なのか自分では判断できない。だから、『それが真実だ』と信じるしかないじゃないか”

『経済ニュースは嘘をつく』(高橋大樹、2010)より

タイトル / 著者 (出版年)	配架場所
経済ニュースは嘘をつく：本質を見抜き、情報を先取りする4つの技術！ / 高橋大樹 (2010)	【1F 開架】330A/Ta33k
高橋教授の経済超入門：経済ニュースがよくわかる！ / 高橋洋一 (2011)	【1F 開架】330A/Ta33t
経済ニュースが10倍よくわかる「新」日本経済入門：目からウロコの経済の読み方 / 三橋貴明 (2010)	【1F 開架】332.1A/Mi63k
経済ニュースの裏を読み！：先行き不透明な時代に、押さえておきたい56の知識 / 三橋貴明 (2009)	【1F 開架】shikaku/81/2009
池上彰の「世界が変わる！」：金融危機と国際ニュースの「なぜ」を読み解く決定版 / 池上彰 (2009)	【1F 開架】304A/I33i
ニュースの裏には「科学」がいっぱい / 中野不二男 (1998)	【書庫】504/57
社説の大研究：新聞はこんなに違う！ / 産経新聞論説委員室 (2002)	【1F 開架】070.4/54
誰にも聞けなかったニュースの経済 / 野口旭 (2002)	【1F 開架】330.4/137
報道センター発：テレビニュースの24時間 / 大林宏 (2003)	【1F 開架】696/167
ニュース報道と市民の対外国意識 / 伊藤陽一 (2008)	【1F 開架】308/89/43
ニュースはどのように理解されるか：メディアフレームと政治的意味の構築 / W.ラッセル (2008)	【1F 開架】310.1/557



「メディア」とは？

テレビ・新聞・ラジオ・インターネットによる情報の発信者であるマスコミとはどういった性質を持っているのでしょうか。テレビや新聞で言っていることはすべて正しいのでしょうか。「メディア」と呼ばれるものがどういったものかを知るための本を集めました。

“メディアは、どこまで無自覚に報道し続けるのだろう”

『世界が完全に思考停止する前に』(森達也、2004)より

タイトル / 著者 (出版年)	配架場所
マスコミは何を伝えないか / 下村健一 (2010)	【1F 開架】070.1A/Sh53m
ドキュメンタリーは嘘をつく / 森達也 (2005)	【1F 開架】778/579
世界が完全に思考停止する前に / 森達也 (2004)	【1F 開架】304/773
それでもテレビは終わらない / 今野勉 (2010)	【1F 開架】081.2/59/797
現代メディアと政治 / 谷藤悦史 (2005)	【書庫】301.4/900
マス・メディアの犯罪 / 武田龍夫 (2003)	【1F 開架】301.4/778
メディア危機 / 金子勝 (2005)	【1F 開架】301.4/885
メディアは存在しない / 斎藤環 (2007)	【1F 開架】301.4/988
マスメディアと国際政治 / 渡邊光一 (2006)	【1F 開架】316/531
デジタル・メディアの活用技術 / 保岡裕之 (2009)	【1F 開架】007.3A/Y66d
新世紀メディア論：新聞・雑誌が死ぬ前に / 小林弘人 (2009)	【1F 開架】361.45A/Ko12s
メディア・リテラシーの現場から / 小中陽太郎 (2001)	【1F 開架】301.4/665
メディアリテラシーとジェンダー：構成された情報とつくられる性のイメージ / 諸橋泰樹 (2009)	【1F 開架】361.45A/Mo75m
メディア・リテラシーの現在と未来 / 鈴木みどり (2001)	【1F 開架】301.4/683



「メディアリテラシー」

メディアに騙されない、流されないためには、自分で情報を取捨選択することが必要になります。そのための能力を身につけるための本を集めました。

“**そうした思い込みから自由になること。それがメディア・リテラシーの力です。**”

『メディアリテラシー入門』(池上彰、2008)より

タイトル / 著者 (出版年)	配架場所
メディアリテラシー入門 / 池上彰 (2008)	【1F 開架】301.4/1022
メディア・リテラシーの社会史 / 富山英彦 (2005)	【1F 開架】301.4/916
メディア・リテラシー：マスメディアを読み解く / カナダ・オンタリオ州教育省 (1992)	【1F 開架】372/571
メディア・リテラシー：媒体と情報(コンテンツ)の構造学 / 井上泰浩 (2004)	【1F 開架】301.4/813
メディア・リテラシー教育：学びと現代文化 / D.バッキンガム (2006)	【1F 開架】371.1/403
メディアリテラシー・ワークショップ：情報社会を学ぶ・遊ぶ・表現する / 水越伸 (2009)	【1F 開架】361.45A/Mi95m
メディア・リテラシーの方法 / アート・シルバーブラット (2001)	【1F 開架】301.4/685
情報探索術 / 関口和一 (2006)	【1F 開架】002/307
ツイッター情報収集術 / 増田真樹 (2010)	【1F 開架】007.5A/Ma66t



「メディアリテラシー」とは...

新聞やテレビなどの内容をきちんと読みとりマスメディアの本質や影響について幅広い知識を身につけ、批判的な見方を養い、メディアそのものを創造できる能力のこと。(『日本大百科全書』)



手軽に学べる新書

「デマ!?!」「拡散!?!」

ウェブログ、Twitter、動画共有サイト。誰もが発信者になれる時代です。そんな膨大な情報の世界の中でどのように生きていけばよいのでしょうか。そんなことを考えるきっかけにふさわしい新書版です。

“**「撃つなアブドゥル! まだゴールデンタイムじゃない!!」**”

『メディアとテロリズム』(福田充、2009)より

タイトル / 著者 (出版年)	配架場所
メディアとテロリズム / 福田充 (2009)	【1F 開架】316.4A/F74m
テレビの大罪 / 和田秀樹 (2010)	【1F 開架】699.8A/W12t
2011年新聞・テレビ消滅 / 佐々木俊尚 (2009)	【1F 開架】081.2/67/708
ジャーナリズムの可能性 / 原寿雄 (2009)	【1F 開架】081.2/2C/1170
情報革命バブルの崩壊 / 山本一郎 (2008)	【1F 開架】081.2/67/667
報道被害 / 梓澤和幸 (2007)	【1F 開架】081.2/2C/1060
ウェブ社会をどう生きるか / 西垣通 (2007)	【1F 開架】081.2/2C/1074
隠すマスコミ 騙されるマスコミ / 小林雅一 (2003)	【1F 開架】081.2/67/318
総理大臣とメディア / 石澤靖治 (2002)	【1F 開架】081.2/67/268
流言とデマの政治学 / 廣井脩 (2001)	【1F 開架】081.2/67/189
「社会調査」のウソ / 谷岡一郎 (2000)	【1F 開架】081.2/67/110



メディア研究

メディア論、メディア研究、コミュニケーション学、情報学と呼ばれる研究分野に関する本を集めました。

“読者の皆様から、「菅谷さんの記事を読んで、**のことが**とてもよくわかりました」などという電子メールをいただいたりすると、正直言って嬉しいよりもむしろドキリしてしまうのだ。”

『メディア・リテラシー：世界の現場から』（菅谷明子、2000）より

タイトル / 著者 (出版年)	配架場所
メディア・リテラシー：世界の現場から / 菅谷明子 (2000)	【1F 開架】081.2/2C/680
メディアと日本人 / 橋本良明 (2011)	【1F 開架】081.2/2C/1298
メディア・バイアス：怪しい健康情報とニセ科学 / 松永和紀 (2007)	【1F 開架】404/293
ご臨終メディア / 森達也 (2005)	【1F 開架】301.4/909
八月十五日の神話：終戦記念日のメディア学 / 佐藤卓己 (2005)	【1F 開架】301.4/889
「情報人」のすすめ / 柴山哲也 (2001)	【1F 開架】301.4/660
イラク戦争と情報操作 / 川上和久 (2004)	【1F 開架】301.4/833
心脳コントロール社会 / 小森陽一 (2006)	【1F 開架】301.4/939
メディア社会 / 佐藤卓己 (2006)	【1F 開架】081.2/2C/1022
議論のウソ / 小笠原喜康 (2005)	【1F 開架】002/277



“テレビ、ラジオ、新聞、雑誌 こうしたマスメディア抜きの現代社会というものを想像することはできるだろうか。”

『マスメディアの「構造」と「空気」』（柴山佐利、2009）より

タイトル / 著者 (出版年)	配架場所
マスメディアの「構造」と「空気」：問いかけと問い直しのメディア論 / 柴山佐利 (2009)	【1F 開架】361.45A/sh19m
メディア空間：コミュニケーション革命の構造 / 中野収 (2001)	【1F 開架】301.4/549.2
パラダイムとしての社会情報学 / 伊藤守 (2003)	【書庫】002/213/1
メディアとプロパガンダ / ノーム・チョムスキー (2008)	【1F 開架】301.4/1020
マクルーハンの光景 メディア論がみえる / 宮澤淳一 (2008)	【1F 開架】301.4/1030
ホワッチャドゥーイン、マーシャル・マクルーハン：感性論的メディア論 / 門林岳史 (2009)	【1F 開架】361.45A/Ka14h
「情報社会」とは何か？：「メディア論」への前哨 / 大黒岳彦 (2010)	【1F 開架】007.3A/D21j
テレビニュースの解剖学：映像時代のメディア・リテラシー / 小玉美意子 (2008)	【1F 開架】696/273
市民メディア論：デジタル時代のパラダイムシフト / 松野良一 (2005)	【1F 開架】301.4/892
メディア・コミュニケーション学 / 橋本良明 (2008)	【1F 開架】301.4/1025



以前から、インターネットで得た情報は真偽を確かめることが必要だと言われてきました。しかし、テレビや新聞などの情報も 100%本当だとは限りませんし、読者・視聴者に何らかの影響を与えることは確かです。ニュースを“読む”ことで、ニュースに惑わされない力を身につけましょう。

いまだから読みたい「ニュースを読みとく」本
平成 23 年 10 月 7 日発行
担当：文学部日本語日本文学科 笹原学
情報サービス課 佐藤、内藤

本冊子は大学図書館ホームページでも公開しています
<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/glim/collection/display.html>